

原子炉停止余裕検査の概要

<本系統の役割【止める】>

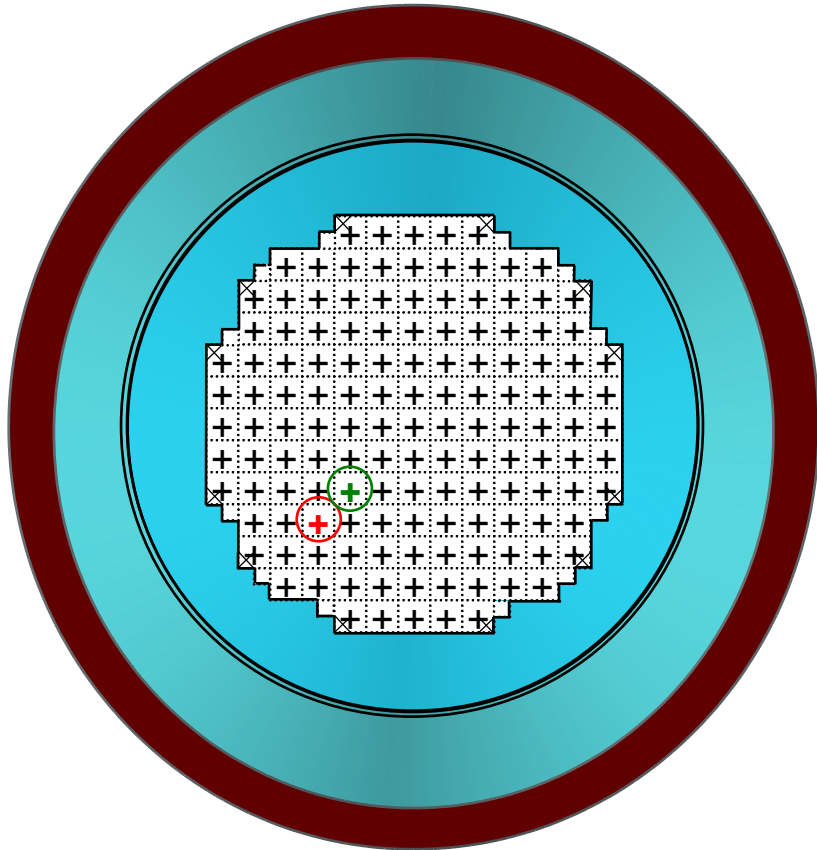
制御棒は原子炉を「止める」機能を有する。

<検査の目的>

最大反応度価値を持つ制御棒が原子炉から完全に引き抜かれた状態でも未臨界状態であることを確認する。

※1 最大反応度価値を持つ制御棒：原子炉から制御棒1本を完全に引抜いたとき、最も核分裂が起こる制御棒

原子炉停止余裕検査の概要



<検査の手順>

最大反応度値を持つ制御棒を原子炉から完全に引抜き、さらに反応度補正※2をして原子炉が未臨界であることを確認する。

※2 反応度補正

- ・ 運転に伴い変化する最大反応度値を考慮した補正
- ・ 最も反応度値が大きくなる炉水温度と検査時の炉水温度の差による補正
- ・ 制御棒の製作公差及び解析誤差の補正

燃料	制御棒
最大反応度値制御棒 (例示)	反応度補正をするために引抜く制御棒 (例示)
ダミー燃料	